

令和 3 年 11 月 9 日

学校教育課

府立中学校において、令和 4 年度から使用する教科書の採択について別紙のとおり取りまとめましたので、報告します。

記

1 対象中学校

京都府立洛北高等学校附属中学校
京都府立園部高等学校附属中学校
京都府立福知山高等学校附属中学校
京都府立南陽高等学校附属中学校

2 経過

各公立中学校で令和 3 年度から令和 6 年度まで使用される教科書は令和 2 年度に採択を行ったところですが、令和 4 年度から自由社が社会（歴史的分野）の教科書を発行することとなったため、各採択権者において、採択替えを行うか否かの検討を行ってきたところです。

3 結論（採択替えの可否）

各府立中学校の教科書の採択権限は京都府教育委員会にありますが、社会（歴史的分野）の教科書の採択に当たっては、各府立中学校において京都府教育委員会から送付した「選定資料」等を参考に、自校で使用するのに最もふさわしい教科書について調査研究がされ、教科書の推薦がありました。

各府立中学校からの推薦や令和 3 年度京都府教科用図書選定審議会からの答申等を踏まえ、慎重に審査した結果、府立中学校の社会科の教科書については採択替えを行わず、現在使用している教科書を引き続き使用することとしました。

（参考資料）

資料：各府立中学校における令和 4 年度使用教科書採択案

洛北高等学校附属中学校 令和4年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、自然科学への基本的な素養を身につけ、その考え方や学び方の理解を深めることを目指している。このため、科学的なものの見方や考え方の育成を図る工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な内容についても高校との接続について工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力、判断力、表現力等の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	東書	新しい国語	※「言葉の力」として各領域での学習事項を一覧表で示している。 ※古典教材において発展的な内容を豊富に盛り込んでおり、折込資料も的確である。また分量・内容共に適切である。 ※生命、科学等、今日的な課題と捉えることのできる教材が多い。
書 写	東書	新しい書写	※課題として掲載されている手本の語句、書きぶりが優れている。 ※高等学校芸術科書道の履修につながる中国や日本の古典資料が掲載されている。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理の知識及び技能を用いて思考、判断、表現する力を育成する工夫がある。 ※課題解決に当たっての科学的手法に関連する地域の課題を見出し考察する探究型の学習を組み込むことが可能である。
社会 (歴史的分野)	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	※各章末では、年表や資料を用いて各時代の様子を整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ろうとしている。 ※我が国の文化の学習に関連する教材を豊富に取り上げるとともに、高等学校地理歴史科「世界史」学習の動機付けとなる配慮がある。
社会 (公民的分野)	東書	新しい社会 公民	※思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※グラフが多くなり、それに関連させて地域的特色を見出し、その理由などを考察させる学習活動が構想できる。
数 学	数研	これからの数学	※学習した内容に関連した話題や問題、活動を通して解決するための課題があり、思考力を深めるための工夫がある。 ※より深い学習が可能な発展的な学習内容も取り上げている。
理 科	東書	新しい科学	※観察・実験の実施、結果の処理・考察等の学習活動を適切に配置し、思考力、判断力、表現力等の育成に配慮している。 ※写真や図を利用して日常生活と関連付けて理解できる工夫がある。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」でマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	※我が国や郷土の伝統的音楽及び諸外国の音楽、楽器を演奏する姿勢や奏法など幅広く掲載している。
美 術	日文	美術	※全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう工夫されている。 ※生活や社会の中の美術や美術文化、美術の働きを実感できる題材が多く取り上げられている。
保健体育	学研	中学保健体育	※各章ごとにまとめた問題を配置し、学習内容の理解と定着が確認できるよう工夫している。 ※発展的な学習を設け、高等学校の学習につながるようにしている。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	※基礎的・基本的な作業は、材料別・実習別に示してあり、「調べてみよう」や「実験」印を使い、学びやすい構成となっている。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	※多種多様な実験・実習により、生活の様々な事象を科学的に見つめ、探究的な学習ができるような工夫がある。
英 語	東書	NEW HORIZON English Course	※4技能をバランスよく育成するように配慮されている。 ※基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで段階を追って学習できる工夫がある。
道 徳	日文	中学道徳 あすを生きる	※1時間の学びを「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つのステップで示し、学びを深める工夫がある。 ※生命、科学等、今日的な課題と捉えることのできる教材が多い。

園部高等学校附属中学校 令和4年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、大きく志をもって自己実現を目指し、知の世紀をリードする高い知性と創造性に富んだ人間の育成を目指している。このため、自然に対する理解や科学的思考力、自分の考えを倫理的に表現する力や問題解決能力の育成を図る工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な内容についても高校との接続が工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力、判断力、表現力等の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	光村	国語	※情報活用や「広がる読書」「読書案内」等、読書と関連した教材が豊富である。 ※発展的な学習について「文語の活用」「古典・近代文学の名作」等高等学校との関連を図る教材を取り上げている。
書 写	光村	中学書写	※各教科等の学習場面や社会生活で役立つ書写の教材が豊富である。 ※優れた先人の書の紹介を通して、高等学校での「書道」の古典臨書学習への道筋をつけている。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理の知識及び技能を用いて思考、判断、表現する力を育成する工夫がある。 ※「人権教育」「グローバル化」「SDGs」等にも触れられており、他教科と関連付けて学習する際に適切な資料が掲載されている。
社会 (歴史的分野)	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	※各章末では年表や資料を用いて各時代を整理させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図っている。 ※写真・地図資料とともに現代社会への展望にも配慮しており「道徳教育」「人権教育」との関連性を重視する学習に適切である。
社会 (公民的分野)	帝国	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして	※社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として具体的な事例を挙げている。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野の国際社会など社会科全般に活用できる情報が盛り込まれている。
数 学	啓林館	未来へひろがる数学	※自分の考えを表現する活動、いろいろな考えを話し合い広げる活動、学んだ内容を振り返ったりまとめたりする活動が設定され、自分の考えをまとめて論理的に述べる力を育成する工夫がある。
理 科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	※例題や基本のチェック・学習のまとめなどが構成されている。 ※小学校での既習事項の整理を図り、発展的な内容では補足説明があるなど高等学校への接続にも配慮がされている。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」でマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。 ※我が国や郷土の伝統的音楽及び諸外国の音楽、楽器を演奏する姿勢や奏法など幅広く掲載している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	
美 術	日文	美術	※全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう工夫されている。 ※生活や社会の中の美術や美術文化、美術の働きを実感できる題材が多く取り上げられている。
保健体育	東書	新しい保健体育	※「見つける」「活用する」「広げる」のステップに応じて思考力、判断力、表現力等の育成を図るような内容が設定されている。 ※各章ごとに小学校や高等学校の学習を関連付けて示している。
技術・家庭 (技術分野)	東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	※プログラミング手帳や技術の歴史等の掲載があり、思考力や判断力を養う工夫がなされている。 ※発展的な内容を取り上げ、関心や意欲を高め、高等学校の学習や他教科の学習とつなげる工夫がある。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	
英 語	三省堂	NEW CROWN English Series	※4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。 ※基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで段階を追って学習できる工夫がある。
道 徳	光村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	※現代的課題や興味・関心を引き出す題材を幅広く取り扱っている。 ※教材配列は、関連する内容項目が有機的に結びつくように工夫され年間を通して計画的に学びを深めることができる構成である。

福知山高等学校附属中学校 令和4年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、個を活かし、公に生きる人間の育成とグローバルに活躍する人間の育成を目指し、「感じる力」「考える力」「行動する力」「向上する力」「関わる力」の5つをつけたい力としている。このため、この5つの力をつけるにあたって効果的な工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な学習や「みらい楽」（総合的な学習の時間）の内容についても高校との接続が工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力・判断力・表現力の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国 語	東書	新しい国語	※各学年で古典教材が取り上げられ、伝統的な言語文化に親しみ、考えを深める内容である。3年では発展的な教材も掲載している。 ※思考ツールを使った協働的な学びを通して、多様な言語活動を設定して、プレゼンテーション能力向上にもつながる内容である。
書 写	東書	新しい書写	※国語の古典や名文を数多く教材化し、豊富な資料により言語や文字を取り巻く日本文化について理解を深める工夫がなされている。 ※高等学校芸術に接続する内容を「文字のいずみ」で掲載している。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理の知識及び技能を用いて思考、判断、表現する力を育成する工夫がある。 ※巻頭にSDGsの概要を示し、関連のある内容に印をつけて取り上げており、「みらい楽」「みらい学」へつなげていくのに適している。
社会 (歴史的分野)	山川	中学歴史 日本と世界	※各章末に政治・経済や世界とのつながりと変化をまとめ、振り返る課題が示され、思考力、判断力と表現する力を高める工夫がある。 ※高等学校公民科「現代社会」の内容の一部に関連する教材を取り上げている。
社会 (公民的分野)	東書	新しい社会 公民	※思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。
地 図	帝国	中学校社会科地図	※環境問題やSDGsが意識されており、中学校の総合「みらい楽」、高等学校の総合「みらい学」へつなげていくのに適している。
数 学	数研	これからの数学	※巻末のチャレンジ問題だけでなく、学習内容を深める問題にも自然に取り組むことができるよう教材の扱いや配置がされている。 ※「発展マーク」では、高等学校で学ぶ内容も取り扱っている。
理 科	大日本	理科の世界	※結果をもとに関係性・規則性を発見し、再度身の回りの自然の事物・現象に置き換えて考える力を伸ばせる内容構成になっている。 ※「発展」や今日の課題などの内容が多く記載されている。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」でマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	※我が国や郷土の伝統的音楽及び諸外国の音楽、楽器を演奏する姿勢や奏法など幅広く掲載している。
美 術	日文	美術	※全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう工夫されている。 ※生活や社会の中の美術や美術文化、美術の働きを実感できる題材が多く取り上げられている。
保健体育	学研	中学保健体育	※各章ごとにまとめの問題を配置し、学習内容の理解と定着が確認できるよう工夫している。 ※発展的な学習を設け、高等学校の学習につながるようにしている。
技術・家庭 (技術分野)	東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	※「技術の評価・活用の学習」が各単元内で繰り返し扱われ、思考力、判断力、表現力等の育成を図る内容となっている。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	※体験的な学習や言語活動に関する教材が豊富である。また、他教科と関連のある学習内容を示し、思考、判断を深める工夫がある。
英 語	三省堂	NEW CROWN English Series	※4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。 ※基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで段階を追って学習できる工夫がある。
道 徳	廣あかつき	中学生の道徳	※教材の内容や分量、表現の難度も発達段階に応じたものである。 ※めあてと問いで構成された「考える・話し合う」コーナーがある。

南陽高等学校附属中学校 令和4年度使用教科用図書 採択について

1 採択にかかる主な調査内容

(1) 教育目標や教育課程の特色

本校では、「science」「global」「philosophy」の3つを教育の柱とし、語学力・創造力・哲学を備え、新たな価値を創造する人を育てたい人間像としている。このため、この3つの教育活動を進めるにあたって効果的な工夫について調査した。

(2) 中高一貫教育校としての教育課程編成

本校では、中高6年間を見通した教育課程を編成している。このため、発展的な内容についても高校との接続について工夫されているか調査した。

(3) 活用する力の育成

思考力・判断力・表現力の育成に関する教材の工夫について調査した。

2 採択案

教科・種目	発行者	教科書名	採択理由
国語	東書	新しい国語	※「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、思考ツールを使い協働的な学びを通して多様な言語活動を設定し、「読むこと」領域では、論理的思考力を育成する課題を「てびき」で示している。 ※3年の資料では、発展的な教材として古典文法を取り上げている。
書写	光村	中学書写	※各教科等の学習場面や社会生活で役立つ書写の教材が豊富である。 ※巻末に「なりきり書聖・王羲之」という高等学校芸術科書道の学習につながる発展教材が紹介されている。
社会 (地理的分野)	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	※各章・節ごとに「学習を振り返ろう」のページを設け、地理の知識及び技能を用いて思考、判断、表現する力を育成する工夫がある。 ※日本の文化や伝統の事例が多く取り上げられていて、「NANYO DEPARTURE PROGRAM」の目標達成に資する内容になっている。
社会 (歴史的分野)	山川	中学歴史 日本と世界	※各章末に政治・経済や世界とのつながりと変化をまとめ、振り返る課題が示され、思考力、判断力と表現する力を高める工夫がある。 ※高等学校公民科「現代社会」の内容の一部に関連する教材を取り上げている。
社会 (公民的分野)	東書	新しい社会 公民	※思考力、判断力、表現力等の育成を充実させるために、単元を貫く課題を設定し、さらに深める課題も設定している。
地図	帝国	中学校社会科地図	※資料に世界全体や世界諸地域の課題を把握できる工夫があり、地理的分野だけでなく歴史的分野や公民的分野の内容も充実している。
数学	数研	これからの数学	※「やってみよう」等において、学習した内容に関連した話題や問題を取り上げ、内容をさらに深める学習活動を行う工夫がある。 ※「発展マーク」等において、発展的な学習問題が準備されている。
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス	※実験計画の立案、結果の考察・分析、実験の発表方法等の説明が詳しく書かれており、探究活動をスムーズに行える工夫がある。 ※将来の学習内容や語句の説明等を中心に多くの項目を扱っている。
音楽(一般)	教芸	中学生の音楽	※1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」でマトリックス表で示し、学びの見通しを持てるよう工夫している。
音楽 (器楽合奏)	教芸	中学生の器楽	※我が国や郷土の伝統的音楽及び諸外国の音楽、楽器を演奏する姿勢や奏法など幅広く掲載している。
美術	光村	美術	※構想をしたり鑑賞したりする際の着眼点や話合いのポイントが示され、造形的な見方・考え方を働かせて思考することを促している。 ※生活や社会の中の美術や美術文化、美術の働きを実感できる題材が多く取り上げられている。
保健体育	大修館	最新 中学校保健体育	※各章ごとに関連する問いがあり、学習内容の見通しが持てる。 ※学習のまとめを配置し、学習内容の振り返りと発展的な学習ができるような工夫がされ、高等学校での学習も関連づけて示している。
技術・家庭 (技術分野)	東書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る technology	※実験や実習で実際に体験を通して思考力、判断力等の育成を図れるように、具体例を示しながら分かりやすくまとめている。
技術・家庭 (家庭分野)	教図	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する	※主体的・対話的に学習に自ら取り組めるよう、具体例や課題設定のヒントを示している。
英語	啓林館	BLUE SKY English course	※4技能の活動がバランスよく構成され、基本的な文を学べる。 ※新出語句のチェック欄や音読回数の記入欄など、主体的に学習が取り組めるように工夫がされている。
道徳	東書	新しい道徳	※読み物と補足資料を組み合わせ、学習を深めさせる工夫がある。 ※各教材末で「考えよう」で考える視点を示し、「自分を見つめよう」で自分とのつながりを考えさせる発問がある。

